

令和2年度 宮若市立小中一貫教育校 宮若西小学校

学校の教育目標		豊かな心と広い視野を持ち、未来にチャレンジする子どもの育成				総合評価	
本年度の重点課題		<ul style="list-style-type: none"> ○ 新学習指導要領に基づく指導体制・指導内容の整備 ○ 県重点課題研究(外国語教育3年次)の推進 ○ 道徳的実践力を高める道徳教育の推進 ○ 小中学校の組織的指導体制の確立、及び小中が連携した生徒指導の推進 ○ 地域とともに創るコミュニティスクールの推進 ○ 小中学校が共通に取り組む挨拶指導(校外における挨拶指導の強化) ○ 小中学校が共通に取り組む掃除指導(黙勤の徹底) ○ 遅刻、不登校の解消 				3.1	
県	重点項目 本年度の重点項目に○をつける。(3~5つ程度)	学校の「取組指標」と「成果指標」		評価1	評価2	改善点	
確かな学力の育成	授業改善 主要教科の学習分を確実に理解させる。	取組指標	国語科、算数科のTT授業を積極的に推進し、児童の学力向上をめざす。	3.6	3.1	○学力向上に向けた取組に対するプラス評価(4、3の段階)が多い。 ○本年度は、継続的な訓練学習は不十分であった。 ○標準学力調査の結果では、4・5・6年は、全国平均を超えており、昨年度よりも向上した。1・2・3年に課題が見られる。但し、3年生は昨年度よりも向上している	
		成果指標	主要教科は、 標準時数を必ずクリア する。	3.5			
	学力向上 ★宮若市内各学年で、全国標準達成	取組指標	年間を通じて、 音読 に力を入れて取り組ませる。	2.6			
		成果指標	12月の 標準学力調査 で全ての学年において 全国平均 をクリアする。	2.6			
自主学習の奨励 ★市の数値目標 (家庭学習時間達成率80%以上)	取組指標	「家庭学習の勧め」のプリントを配布し、家庭学習の充実を図る。	3.2				
	成果指標	家庭学習時間達成率90%以上とする。(低学年20分以上、中学年40分以上、高学年60分以上)	3.1				
豊かな心の育成	生徒指導の充実(不登校児童の減少) 不登校児童出現率を0にする	取組指標	別室登校児童 が、教室へ戻れるよう家庭と連携をとりながら支援する。	3.3	3.0	○2学期の後半頃から、遅刻・欠席を減らそうという教職員の意識が高まり、11月頃から遅刻欠席者が減少した。 ○栽培活動の推進役がいない。環境教育担当、勤労生産奉仕的行事部の職員の自覚が低い。 ○「挨拶」「掃除」「言葉遣い」「廊下歩行」の指導の徹底を指示しているが、教師の意識に差があり徹底できていない。	
		成果指標	不登校児童を0にし、 遅刻30日以上 の児童を0にする。	2.8			
	栽培活動の推進	取組指標	4・5・6年生において、 一人一鉢栽培 に取り組ませ、栽培活動への興味・関心を高める。	3.3			
		成果指標	学校運営協議会の環境委員会と児童会の栽培委員会が連携し、地域ぐるみで 花いっぱい運動 を展開する。	3.2			
生活規律を遵守する指導	取組指標	小中学生ともに「語先後礼の挨拶」「黙勤掃除」「静かな廊下歩行」「丁寧な言葉づかい」の徹底を図る。	2.6				
	成果指標	「挨拶(語先後礼)」「掃除(黙勤)」の達成度は、自己評価で肯定評価児童が90%以上を目標とする。	2.6				
健やかな体の育成	体力・運動能力の向上	取組指標	11月に実施する「新体カテスト」に向けて、個人目標を持たせ、日々の教育活動の中で具体的取組を行う。	2.8	3.0	○本年度は、コロナ禍にあり、体力向上の取組は弱かった。	
		成果指標	到達度目標は、全種目において、全国平均とする。	2.7			
	健康教育の充実	取組指標	新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対策を徹底し、日常の健康・安全に留意させる。	3.4			
		成果指標	通学路の安全点検、地域の危険箇所の把握を行い、安全マップの作成及び、修正を行う。	3.1			
特別支援教育の推進	通常学級および、特別支援学級における指導	取組指標	毎日教室を回りながら児童に声かけをし、児童の心の安定に努める。	3.0	3.2	○低・中学年で発達障がい疑いのある児童が数名おり、巡回相談を実施した結果、特別支援学級が適当という児童が数名明らかになった。 ○通常学級において、対象となる児童の「個別の教育支援計画」の作成が十分でない。保護者との面談が必要である。	
		成果指標	巡回相談や就学相談等を活用し、特別に支援を要する児童の支援体制を整える。	3.3			
	特別支援教育の指導体制の確立	取組指標	特別に支援を要する児童の「個別の指導計画、教育支援計画」を点検し、内容の充実を図る。	3.1			
		成果指標	本年度における「 個別の指導計画、教育支援計画 」の記入率を 100% とする。	3.4			
信頼される学校づくり	キャリア教育の推進	取組指標	本校のキャリア教育に関する教育内容をカリキュラムに沿って実践する。	2.9	3.1	○本年度のコミュニティスクール関係の会議は、コロナ禍にあり、全くできていない。郵送で活動内容を知らせるようにしてきた。 ○学習委員会の活動は、野外で行う活動のみ実施した。(2年生野菜作り) ○環境委員会の活動は、除草作業、桜草の栽培および配布を実施した。 ○安全委員会の活動は、実施していない。 ○学校研究は、研究発表会に向けて、計画的に推進することができた。職員の高達成感も高い。	
		成果指標	各学年の キャリア教育実践 をチェックし、 完全実施 に努める。	2.7			
	学校管理	取組指標	安全点検カードにより、毎月の修理・修繕が必要な箇所を把握し、施設設備の改善に努める。	3.4			
		成果指標	特別教室、準備室等の教材・教具の保管状況に気を配り、学期末毎に整理を行う。	3.0			
	家庭・地域との連携	取組指標	コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の機能化を図り、年間計画に沿った活動を推進する。	3.0			
		成果指標	学校運営協議会の委員に情報を提供するために、コミュニティ・スクール通信や学校ホームページ等で発信する。	2.9			
	特色ある学校づくり	取組指標	福岡県重点課題研究「グローバル化に対応した外国語教育」の 最終報告会 に向け組織的に取り組む。	3.6			
		成果指標	全職員が、研究への参画意識を高く持ち、主体的に取り組むことのできる研究推進体制づくりを行う。	3.2			

評価方法は、【とてもよい4】、【よい3】、【あまり2】、【よくない1】で記入すること。

評価の実施時期

令和3年1月下旬実施